



米内山陽子

---

登場人物

森永小夏(もりながこなつ)	元イエローバード	現芸能事務所社員
大貫真帆(おおぬきまほ)	元イエローバード	現二児の母
椎名美月(しいなみづき)	元イエローバード	現女優
倉本廉(くらもとれん)	芸能事務所社長	
沖田重道(おきたしげみち)	番組プロデューサー	
大貫和義(おおぬきかずよし)	アナウンサー	
松橋貢(まつはしみつぐ)	番組ディレクター	
中岡有理(なかおかゆうり)	番組アシスタントディレクター	



黒いナイロンパーカの有象無象が番組制作会議をしている

- 男1 もういないっすよ、ちよーどいいのなんて
- 男2 スタジオゲストって誰バミってる？
- 男3 掘り起こせよ記憶の奥から
- 男4 番宣がらみで安くなってるの押さえてあります
- 男3 誰かいるだろ
- 男4 手元のペラ見ていただければ
- 男1 うーん
- 男2 ふーん
- 男3 そうじゃなきゃ似たような番組何度もやってんだから、そこのデータ引っ張ってこい
- 男4 どうすかね
- 男1 昔過ぎるとわけわかんなくなるじゃないですか

男2 わけえなく

男3 わかるけどよ

男4 つられて若い子見てくれるんで。メイン決まりました？

男たち黙り込む。

男4はナイロンパーカを脱ぐ。それは松橋貢である。

松橋 今の時間は、ちょうどテツペン、日付変更の十二時を越えたあたりです。この辺りから、会議は不毛になっていきます。だからスナック菓子を食べて、タバコ休憩の間隔が短くなって、澱んでくる。僕たちが行っているのは「あの人は今」みたいな番組の制作会議です。こういう番組はバブルが弾けて以降、しぶとくしぶとくテレビに顔を出します。とはいえ、「あの人は今」どうしているのか、実は誰もそんなに知りたくない。出る側だって、現在の生活をざわつかせたくないと思断る人も少なくありません。その中から、誰もが憶えているけど忘れられた人をスポットライトの下に引っ張り出して、番組を成立させるのが僕らの仕事です。（会議の面々に）ちよっと思ひ出したんですけど。

男たち、それぞれに反応。

松橋 「俺の高校の同級生が、昔アイドルやってたんですよ。一曲だけ売れて。二〇年近く前ですけど。

男2 おまえそう言うこと早く言えよ

男1 松橋さんなんで黙ってたんですか

男3 おまえと同級生って事は今……

松橋 四〇です。イエローバードっていう三人組なんですけど

男たち あー……？

松橋 ここは架空の世界です。架空の元アイドルの、架空の番組の、架空の物語です。どうぞ携帯電話は電源からお切りください。切り方教えます。電源ボタンを長押しです。およそ九〇分後には皆様を現実にお返しします。ひととき、僕たちの架空の右往左往にお付き合いください。チタキヨ四〇歳記念公演「フラッシュバック」開演です。

倉本廉と松橋が対峙している。

倉本 イエローボード、ですか。

松橋 そうなんです、是非ご出演願えないかと

倉本 彼女たちはもう解散してますし、引退している子もいますから。それに

松橋 はい

倉本 誰も覚えてないでしょう

松橋 そんなことないですよ。

倉本 本気で仰ってますか

松橋 僕は覚えてましたから。

中岡有理が入ってくる。

中岡 失礼します。松橋さんちょっといいですか

松橋 なに

中岡 沖田さんが「松橋呼べ！」って

松橋 (倉本に) ちよっとすいません。(中岡に) なんで

中岡 理由までは聞いてないですけど……

松橋 いま打ち合わせ中だからって

中岡 わかりました

中岡、去る。

倉本 沖田さん、まだいらっしやるんですね

松橋 ご存じでしたか

倉本 ええ、二十年前はお世話になりました。うちの事務所はすっかり役者ばかりになりましたから、バラエティとは縁遠くなりました。

松橋 沖田は相変わらずバラエティ班ですよ。この番組のプロデューサーでもあります。

倉本 そうですか。沖田さん……そうですか。

松橋 ?

倉本 少し、考えさせて頂きたい



松橋 もちろんです。それであの、いつ頃までに。

倉本 本人達にも話をします。いいお返事ができるかどうかは……まだ。

松橋 ……はあ。

中岡がもう一度やってくる。

中岡 失礼します。松橋さん……

松橋 わかった。今行く。(倉本に)またご連絡します。

倉本 はい、よろしくお願い致します。

松橋 お送りして

中岡 あ、はい

松橋 すいません。こちらで失礼します。

松橋、去る。

倉本と中岡、残される。

倉本 ……

中岡 あ、あ、今回アシスタントディレクターいたします、中岡です。

ウエストポーチから直接名刺を出す。

倉本 失礼しました。オフィス・レンの倉本です。

名刺交換して、

倉本 中岡さんは、おいくつですか？

中岡 え、あ、二五です。

倉本 イエローボード、ご存じでしたか？

中岡 わたし、世代じゃなくて

倉本 じゃあTRFもわからない？

中岡 それは知ってます。KOOさん活躍されていますから。

倉本 (笑う) ああ、そうですねえ

中岡 あ、でも、曲は聴きました！ お願いするかもしれないってすぐ。

倉本 どうでした？

中岡 どう。

倉本 今の若い方には、どう聞こえるのかなと思って。

中岡 すいませんまだ一回しか聞いてなくて

倉本 正直ですね

中岡 でもすごく、あの、いいと思います。すいません喋る順番間違えました。

倉本 いいんですいいんです。わたしはね、心配なんです。もう皆静かに暮らしているのに、わざわざ引っ張り出して傷つけることになったら

中岡 優しいんですね

倉本 年をとるとね、葬式で泣いてもらえるような人間になりたいって思うもんです。

中岡 そういうもんですか？

倉本 少なくともわたしはそうです。

中岡 ここにいる人は。死んだら呪われるような人ばかりです。

倉本 そうですか？

中岡 わたし時々呪ってますもん。人使い荒いし、声でかいし、自分以外を馬鹿だと思ってる、自分が一番正しいって思い込んでる人たちがばかりですよ。この番組は、そういうおじさん達で作ってるんです。だから、出たら多分傷つきます。

試し読みしていただけるのはここまでです。

この続きは商品をご購入の上ご覧下さい。

フラッシュバック（おためしサンプル）  
チタキヨ40歳記念公演

---

2020年8月8日 初版発行

著 者 米内山陽子 © 2020年

発行者 石村寛之

発行所 有限会社レトロインク

〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7

電話 0422-24-9529

---